

質疑・答弁から

過疎地域自立促進計画
の変更

質問 過疎地域自立促進計画の変更内容はどのようなものか。

企画財政課長 過疎債の内ソフト事業債は、国の予算の範囲内という条件がありますが、引き上げられたことにより、新たなソフト事業を追加するものです。又、中学校の統合に伴い、通学路の歩道整備に係る事業を新たに追加することになっています。既存の事業は変更前の過疎計画に記載しているものです。



▲歩道整備予定箇所（本町～今村線）

質問 歩道の整備以外に既存事業ということだが、過疎債を使って行う理由は。

企画財政課長 ここに上っている事業については、全て一般財源で行っています。過疎債を充当すると7割は、交付税措置されることになり、その中で、財政的には有利だと判断しています。

しかし、必ずしもここに上げたからといって、全てを過疎債で賄うということではありません。

防災会議条例の一部を
改正する条例

質問 防災会議の委員に自主防災組織を構成する者、又は学識経験のある者の内から町長が任命する者となるが、どのように考えているか。また自主防災組織の現況は。

総務課長 防災会議の委員には、昨年度立ち上げました41の自主防災組織の中から代表者の方を考

えています。

また自主防災組織は41の区がそれぞれ作っていますが、連合体を作ると

いう方向性も検討され、西川、剣、古月の地区で3つぐらいの連合体を作

って、その中からもとい

う考えも持っています。

また学識経験のある者

の内からというのは、今

のところ想定していま

せんが、専門的な意見を聞

かなければならないよう

な計画内容を審議する場

合には、入っていたたく

こともあると考えていま

す。

また町として自主防災

組織への指導ですが、現

在独自に勉強会をされた

り、簡単な防災訓練を実

施されている区や、全く

手付かずの状態のところ

もあり、地域によって差

があります。

県からも防災訓練をし

たり、あるいは地域の方

の勉強会をするモデル事

業というの提案があ

り、そういうものも活用して進めたいと考えています。

また、区に入っていない方もいますので、情報の提供等、連絡体制も作

っていかなくてはならな

いと考えています。

今後は、災害からの復

旧も含めて個人情報を取

り扱いとか、国がどうい

った情報の取り扱いをす

るかも示されると思いま

すので、参考にしながら

やっていきたいと思いま

す。

平成24年度一般会計補
正予算

質問 緊急雇用創出事業

臨時特例基金事業委託料

が1660万円程付いて

いるが、その事業の中身は。

企画財政課長 緊急雇用

創出事業臨時特例基金事

業については、各課に募

集検討を行った結果、航

空写真撮影による固定資

産税賦課の確認事業を企

画提案しました。

航空写真撮影については、平成7年度に行つて以降、約17年間行われて

いませんでしたので、固定資産税の適正な賦課事務を行うため、本事業の採択を県に要望してい

ました。その結果、今回当

町の企画案が採択されま

したので、本予算を計上

しました。



▲航空写真撮影のイメージ（くらじの郷）

質問 雇用する人数は。

税務住民課長 仕事の

身としては、航空写真を

撮り、写真を地図データ

に直して、現況地目や住

宅用地に対する課税標準

の特例等のチェックを

し、家屋が実際建っているかどうか等のチェックをいたします。

人数は新規雇用者9名について延べ900日を予定しています。

質問 災害復旧費について工費が699万9千円付いているが、場所と内容は。

建設課長 場所は室木の宮田越下池です。

内容としては、堤体に30〜40cmの穴が貫通し土砂が流失しています。その後堤体の上部が2〜3mの幅で陥没していますので、その復旧工事です。

平成23年度一般会計決算認定

質問 財政調整基金について、予算書の中に出て来っていない動きがあるが基金の流れは。

企画財政課長 今回財政調整基金の現金の方で資金運用をしています。予算書には上がってきませ

んが、適正な事務処理です。

一時借入をすれば当然利息が付きませんが、この資金運用についても、借りた部分については、市場の民間金融機関に預けた分の利息相当分は、利息として基金に戻します。

平成23年度国民健康保険事業特別会計決算認定

質問 不納欠損額1816万8295円について執行停止の不納欠損分と、消滅時効の不納欠損分、それぞれの件数と金額は。

税務住民課長 国民健康保険税の不納欠損の合計1816万8295円の内、執行停止に係る不納欠損分は71件で375万1900円。消滅時効による不納欠損は156件で1441万6395円となっております。

平成23年度流域関連公共下水道事業特別会計決算認定

質問 国庫補助金が減った主な理由と、今後の見通しは。

上下水道課長 減額になった主な要因は、従来であれば下水道事業の補助金ということで、毎年確保できていました。しかし、前年度から社会資本整備交付金ということ

で、ある程度今まで単独で出していた分も補助ということ、緩和された部分がありまして、福岡県全体で要望額が1.3倍ぐらいに膨れ上がりました。

しかし実質の内示があったのが前年度の90%ぐらいで、その部分で国庫補助金が大幅に下がったものです。2点目ですが、今年度も厳しい状況であり、今年度は2億2000万円の補助金を要望していま

したが、当初内示では81.7%ぐらいしか内示があっていません。今後このようなことが続くと、整備計画を見直す必要があると考えています。

平成23年度下水道事業会計決算認定

質問 水道事業の収益と費用で22年度に比べて23年度は1000万円程収益が減少して利益が500万円程しか出ていません。その収益が下がった主な理由と今後の見通しは。

上下水道課長 収益が減少した要因は、水道料金の加入金が、前年度は八尋の県営住宅の口径変更により入ってきましたが、23年度はこの加入金がなく、その分の減額と給水収益で約300万円の減額が主な要因です。



▲稼働中の中央浄水場

24年度は赤字予算で、主な要因は建設改良に伴う減価償却の増額と、利子の支払ということで大

幅に落ち込みました。水道料金は、年間で300万円減っています。今年度はあまり変化がない状態です。しかし、24年度で赤字予算を組んでいますので、水道料金の改定と費用の削減等で黒字経営になるようにしたいと考えています。

継続審査
平成23年度決算認定(理由)

各会計の決算を今会期中に審査を終える事ができませんでしたので継続審査としました。

【総務文教委員会】

- 流域関連公共下水道事業特別会計
- 水道事業会計

【民生産業委員会】

- 国民健康保険事業特別会計
- かんがい施設維持管理運営費特別会計

- 後期高齢者医療特別会計
- 住宅新築資金等特別会計

- 谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計
- 病院事業会計

- 介護老人保健施設事業会計

【決算特別委員会】

- 一般会計